LPガス・LNG

タイLP市場に進出

地元大手と資本業務提携

伊藤忠エネクス

伊藤忠エネクスはタイのLPガス市場に進出する。地元大手のWPエナジーパブリックカンパニー（WP）と業務提携契約を結ぶとともに、既存株主から発行済み株式総数の5％を取得した。社員2人を現地に派遣する。WPが手掛けていないLPガス小売市場を両者で開拓するほか、ミャンマーやベトナムなど近隣国への展開も視野に入れている。伊藤忠エネクスが海外でガス事業を展開するのは2014年に工業用ガス販売で進出したインドネシア、16年にLPガス販売事業に参画したフィリピンに続いて3カ国目となる。

WPはタイ証券取引所上場企業。LPガスターミナル5カ所と充填所17カ所、ローリー車170TTの42・6％に次ぐ208台を有する。昨年の一般消費量は、19年は380万㌧、20年には338万㌧となった。主因はオートガス用の落ち込み。15年の173万㌧から20年は74万5000㌧と半減した。ディーゼル車や電気自動車にシェアを奪われているところに、コロナの影響が追い打ちをかけた。家庭用はこの間200万～210万㌧、工業用は同60万㌧前後で堅調に推移している。信頼性のある大手ブランドがじわりとシェアを広げている。

WPは無借金経営で財務面に不安はないが、オートガス向けの落ち込みは課題となっていた。今後の成長戦略を描くにあたり、さまざまな事業を日本で展開し、フィリピンではLPガス事業を手掛ける伊藤忠エネクスと協業に向けた話し合いを重ねてきた。

同社は海外事業の推進を中期計画にも掲げ、東南アジアにおいてM&Aや事業提携につながる情報を収集するため、昨年1月タイに駐在員事務所を置いた。この間、同国およびLPガス事業や太陽光発電事業などの情報収集・市場調査を進めてきた。

両者は互いの知見を掛け合わせ、「ターミナル（輸入）からキッチン（家庭用）までの一貫したLPガス・サプライチェーンを構築し、LPガス販売の深掘りと、多様な事業を横展開していく」（伊藤忠エネクス）。

LPガス小売市場は年2％程度の成長が見込めるとしている。WPが強みとする安全・安心・信頼のブランド力を活かして、潜在需要が大きな郊外の需要を開拓する。伊藤忠エネクスはフィリピンで、LPガスの注文・決済をスマホで完結できるアプリの運用を近く始める。いずれはこのアプリでタイでも使えるようにしていく。

産業用需要家には、産業用ガスや再生可能エネルギーなどもワンストップで提供する。工場の屋根などに太陽光パネルを設置し、発電した電力をスマホに送信し、地域担当者が顔の見える関係を生かして最適な提案を行う。

タイWP社のLPガス充填所

新中期経営計画を策定

46万件獲得を目指す

DX推進し需要を開拓

TOKAIHD

TOKAIホールディングス（HD）は2021～25年度までの4カ年中期経営計画「イノベーションプラン（IP）2024」を策定した。顧客件数を46万件獲得し、24年度に3560万人とするほか、売上高を20年度の1967億円から24年度には2450億円に、営業利益を同じく152億円から186億円に、ROIC（投下資本利益率）も9・2％から9・9％以上に引き上げる。デジタル技術を活用して、既存事業の生産性向上と業務効率化を図り、ビッグデータにAI（人工知能）を組み合わせるなどして顧客ニーズをつかみサービスの付加価値を高める。スタートアップ企業との協業により新規事業の創出にも取り組む。

重点戦略は以下の5点。①LNG戦略の推進＝国内外で事業エリアを拡大し顧客数を増やす②TLCの進化＝顧客ニーズを的確にとらえるデジタルマーケティングの高度化とベンチャーキャピタルを中核とするオープンイノベーションの推進③DX戦略の本格化＝ビッグデータ・AI・IoT・ロボティクスなどを組み合わせ、①と②を横断的にけん引④経営資源の最適配分により、成長投資と株主還元を充実させる⑤SDGsに向けた取り組みの強化＝50年までにグループが販売するガスを脱炭素化しカーボンニュートラルを達成するほか、30年までに女性顧客データを一元管理し、AI・IoT・ロボティクスなどを用いて潜在需要の発掘や価格改定の目的を掲げる。脱炭素社会を見据え、新たな事業領域、環境対応ビジネス、次世代エネルギーなどに積極的に取り組む方針を打ち出した。

定性計画として、①基盤の維持・拡大②環境・エネルギービジネスの深化③次世代人材の育成――を挙げる。①では、国内販売ネットワーク・顧客基盤（石油・ガス・電力・自動車）のさらなる充実を図る。デジタルトランスフォーメーション（DX）などにより、BtoCビジネスを積極的に進める。②については、電力などで、未開拓エリア（新事業領域）へ進出する。さらに再生可能エネルギーを中心に、発電から売電までの電力事業のさらなる拡大を推進。環境技術力を高め、石油代替となる低炭素・脱炭素商材を行動パターンを予測する。顧客拡充する。③では、事業部門・商材の壁を越え、国内外で活躍するマルチ人材を育成。ダイバーシティの推進や社内研修制度の整備・充実を図る。

こうした取り組みを進めることで、22年3月期の業績目標を純利益125億円、ROE（自己資本利益率）9・0％以上とした。2カ年の投資計画では、前中計の1・5倍となる総額6000億円を投じる。成長投資（再生可能エネルギー関連、環境対応ビジネス、海外事業など）に3000億円、基盤の強化（デジタル、IT関連、企業買収など）に100億円、基盤の維持（LPガス、発電設備、各種システムなどの維持更新）に200億円を投じる。

5割増の600億円投資

次世代エネなど取り組み

伊藤忠エネクス　伊藤忠

伊藤忠エネクスはこのほど、2021～22年度の2カ年を対象とする中期経営計画「SHIFT／2022」を策定した。前計画（Moving2020、18～20年度）を踏襲しつつ「急速に高まる環境問題や地球規模で拡大する新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、会員の安全を第一に考慮した。第50回となる来年の総会について内のホテルアンビア松風閣で開催を計画していた総会は、社会情勢を考慮しながら旅行等を含めた企画を今後検討する。

総会中止を決定

TOKAI販売店会

TOKAI販売店会は6月2日に静岡県焼津市

会員対抗戦を開催

エネアーク関東会

エネアーク関東会の会員同士がガス販売量や機器販売台数を競う「エネ・ジョイ・カップ2021」が6月1日から11月30日まで開催される。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止となったが、今年度は新たな商材や特典を加えて実施する。4月にエネアーク関東会会長に就任した土橋克美氏は「こんな時こそ会員の結束が必要と考え実施を決めた」としている。コロナの感染状況を踏まえ、決起大会は行わず、9月に中間報告会を実施する予定だ。スローガンは「創造と変革で新しい未来へ」。人とのつながりを大切にし、創造力を豊かにして飛躍を図るとの思いを込めた。新たに追加した商材は、IoT（モノのインターネット）給湯器、災害対策商品、ウイルス関連商材、通信関連機器商材。また、系列外の販売店を新規会員に招き入れた会員にポイントを付与するスペシャル特典も設けた。

6月から　対象商品追加

ガス増販と機器増販の2部門の合計獲得ポイント数を競う。1位を総合グランプリとして表彰する。報奨金30万円と優勝杯を贈呈する。ガス増販部門は、増販量と伸長率を算出しランキングポイントを付与する。機器増販部門も、商品別に点数を設定し増販量と伸長率を算出、順位に応じたポイントを付与する。両部門とも報奨金は1位5万円、2位3万円、3～5位1万円。さらに特別賞として、機器増販部門の獲得点数が実績を上回った会員に報奨金（会員数1人につき2000円）を贈るエンゲージメント賞、ガスを新規契約または機器を購入した顧客には抽選で商品券を贈呈する顧客還元賞を設けた。

タイピングコンテスト

100人参加、上位3人を表彰

レモンガス

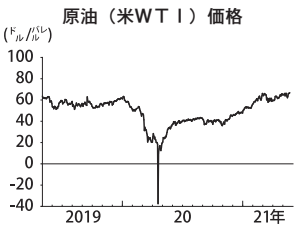
レモンガスは4月27日、事務力アップコンテスト（タイピング部門）の決勝戦を行い、優勝、準優勝、3位の社員を表彰した。優勝者はエネルギーソリューション部の松浦皓平氏（写真右・中央）、準優勝はアクアラ事業部の小田睦美氏、3位はシステム管理部の中村友里子氏で、5月11日にオンラインで表彰式が行われた。

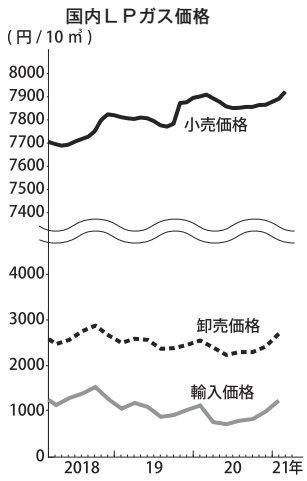
同コンテストには、100人が参加し、ウェブ上で5分間のタイピングを行い、上位10人が決勝に進出。決勝では、一斉配信された課題（1000文字程度）をワードで入力し、事務局へ提出した到着順で順位を決めた。

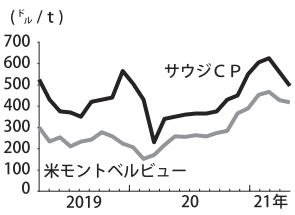
赤津欣弥社長（写真左）は「コロナ禍でも開催できる取り組みとして実施した。表彰する3人は100人の参加者の上位なので、誇りに思っていただきたい」とコメントした。

オンラインで表彰式が行われた

エネルギー市況







【週次データ】

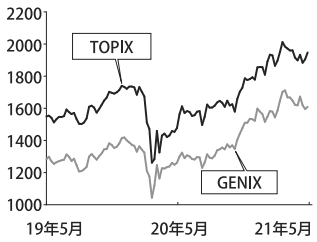
原油（WTI）	66.85ドル/バレル	(5/27)	62.05ドル/バレル	(5/20)
天然ガス（米ヘンリーハブ）	2.958ドル/mmbtu	(5/27)	2.925ドル/mmbtu	(5/20)
LNGスポット				
極東アジア到着価格（JKM）＊	10.498ドル/mmbtu	(5/27)	9.600ドル/mmbtu	(5/20)
北西欧州到着価格（NWE）＊	8.727ドル/mmbtu	(5/27)	8.501ドル/mmbtu	(5/20)
米メキシコ湾岸出荷価格（GCM）＊	8.544ドル/mmbtu	(5/27)	7.386ドル/mmbtu	(5/20)
LNGタンカースポットレート				
米メキシコ湾岸へ極東アジア（パナマ運河経由）＊	1.94ドル/mmbtu	(5/27)	1.95ドル/mmbtu	(5/20)
JEPX電力スポット（24時間平均）	6.80円/kWh	(5/28)	9.22円/kWh	(5/21)

【月次データ】

サウジCP（プロパン）	495ドル/t	(5月)	560ドル/t	(4月)
サウジCP（ブタン）	475ドル/t	(5月)	530ドル/t	(4月)
LPG輸入価格	65,929円/t	(4月分)	66,116円/t	(3月分)
LPG卸価格	2,699円/10㎡	(2月)	2,417円/10㎡	(12月)
LPガス一般小売価格（関東地区）	7,374円/10㎡	(4月30日)	7,348円/10㎡	(3月23日)
LNG輸入価格	43,878円/t	(4月分)	41,701円/t	(3月分)
スポットLNG（日本着価格）	8.3ドル/mmbtu	(4月分)	6.6ドル/mmbtu	(3月分)
東京ガス標準家庭料金（東京地区）	4,697円/30㎡	(6月分)	4,662円/30㎡	(5月分)

（注）mmbtuは百万BTU（英国熱量単位）、＊S&Pグローバルプラッツ社提供

ガス関連株　5月28日



ガスエネルギー新聞株価指数（GENIX）
1,609.23（＋13.64）

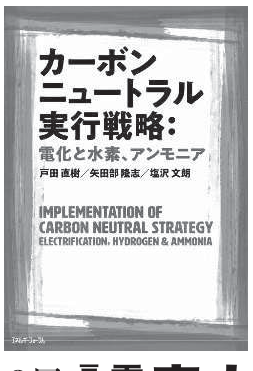
東証株価指数（TOPIX）
1,947.44（＋42.75）

GENIX構成50銘柄

証券コード番号順　単位：円

銘柄名	終値	前週末終値比	銘柄名	終値	前週末終値比
INPEX	753.0	5.0	愛知時計電機	4,315.0	25.0
石油資源開発	1,982.0	▲54.0	伊藤忠商事	3,326.0	59.0
K&Oエナジーグループ	1,390.0	27.0	三井物産	2,443.5	37.0
日揮HD	1,062.0	9.0	カメイ	1,161.0	14.0
サーラコーポレーション	599.0	▲10.0	三菱商事	3,016.0	104.5
TOKAIHD	887.0	▲13.0	岩谷産業	6,430.0	120.0
トーエル	766.0	▲5.0	三菱石油	1,195.0	11.0
エア・ウォーター	1,871.0	19.0	ミツウロコグループHD	1,238.0	▲20.0
出光興産	2,615.0	27.0	シナネンHD	2,774.0	32.0
ENEOSHD	455.0	1.4	伊藤忠エネクス	1,003.0	▲20.0
コスモエネルギーHD	2,330.0	▲23.0	ニチガス	1,706.0	▲109.0
日本製鉄	2,102.5	12.5	日本郵船	4,500.0	145.0
JFEHD	1,490.0	10.0	商船三井	4,375.0	10.0
ノーリツ	1,948.0	40.0	東京電力HD	345.0	0.0
長府製作所	2,062.0	▲11.0	中部電力	1,313.5	▲12.5
リンナイ	10,940.0	70.0	関西電力	1,040.0	▲18.0
フジマック	754.0	▲2.0	東京ガス	2,179.5	▲48.0
マルゼン	2,175.0	▲11.0	大阪ガス	2,105.0	▲26.0
三浦工業	5,040.0	85.0	東邦ガス	6,100.0	▲220.0
三井海洋開発	2,172.0	15.0	北海道ガス	1,539.0	▲10.0
荏原	5,420.0	530.0	広島ガス	384.0	6.0
千代田化工建設	394.0	▲6.0	西部ガスHD	2,508.0	▲5.0
パナソニック	1,256.5	80.0	北陸ガス	3,130.0	15.0
新コスモス電機	2,137.0	46.0	京葉ガス	3,285.0	▲45.0
アズビル	4,450.0	155.0	静岡ガス	1,052.0	▲29.0

書籍案内



定価2310円（10％税込み）

カーボンニュートラル実行戦略：
電化と水素、アンモニア
戸田 直樹／矢田部 隆志／塩沢 文朗［著］
国のエネルギー政策を先取り
2030年、2050年の
脱炭素社会に向けた「具体策」はこれだ

amazon 売れ筋ランキング 第1位［エネルギー部門］（2021年4月5～6日）

株式会社エネルギーフォーラム

特集2　燻り続ける電力危機の火種　今夏も電源不足は解消されず
レポート　NDC「46％減」を一刀両断　国益なき目標決定の全舞台裏
特集1　電力ガス強靭化の佳境
全国で加速するインフラ整備
再エネ規制緩和の落とし穴
翻弄される地域の現場事情
▼再エネを取り巻く立地規制にメス
省庁横断・急ピッチで進む制度改正
▼太陽光に地域住民の根深い不信
主力化担う風力で二の舞い防げるか
▼拙速な規制緩和の決断に待った！
「再エネ優先」リスクを徹底討論

わが国随一の環境・エネルギー総合誌
月刊エネルギーフォーラム　6月号　定価1474円（本体1340円＋税10％）
お申し込み 03-5565-3500 https://energy-forum.co.jp　年間購読料17,688円（本体16,080円＋税10％／送料別）

Books

LNG Outlook2020
〈天然ガス貿易データ総覧〉
～国内外のあらゆるLNG資料をわかりやすくビジュアル化～
▶編者：吉武惇二・大矢一正　編集協力：奥田 誠　A4判・720頁　定価19,800円（税込）

バイオマス熱利用の飛躍的拡大を目指す
実務で使うバイオマス熱利用の理論と実践
▶特定非営利活動法人 農都会議 編
B5判・160頁　定価 3,300円（税込）

商品は「日本工業出版ウェブサイト」でご購入下さい。 https://www.nikko-pb.co.jp/

日工技術セミナー　〈オンライン受講対応（Webex使用）〉

プラント保温材下腐食（CUI）の管理と設計	開催日 6月16日（水）／受講料 33,000円（税込）
建築用空調設備配管設計の基礎（圧力線図の描き方とポンプの運転状態の算定）	開催日 6月17日（木）／受講料 38,500円（税込）
流量計測のトラブル事例とその対策	開催日 6月23日（水）／受講料 33,000円（税込）
プラント配管の熱膨張応力解析の必要性（オンラインショートセミナー）	開催日 6月24日（木）／受講料 11,000円（税込）
ASME B31.3 配管応力解析における最近の動向の改定点	開催日 6月25日（金）／受講料 33,000円（税込）

※お申込み・詳細はホームページをご覧下さい。

販売専用フリーダイヤル ☎0120-974-250 日本工業出版　〒113-8610 東京都文京区本駒込6-3-26　sale@nikko-pb.co.jp